

特定非営利活動法人 日本がん検診・診断学会 がん検診認定医制度のご案内

我が国の死亡原因の第1位であるがんの死亡を減少させるためには、その発生の予防、早期発見、新たな治療法の開発などが考えられます。しかし、がん発生の原因は複合的でかつ長期にわたるものが多く、発生の予防、治療法の開発はいまだ充分とはいえません。したがって、がん死亡を減少させるためには、早期に発見し確実に治療することが重要です。

早期発見のため胃癌、子宮癌、肺癌、大腸癌、肝臓癌、前立腺癌、小児癌などの検診が独自に行われており、それぞれのがん検診に関して検討する学会や研究会はありますが、がん検診には共通する問題も多いにもかかわらず、各種がん検診について合同で討議する場がありませんでした。そこで、1991年にがん検診関連学会・研究会の7団体(日本消化器がん検診学会、日本肺癌学会、日本婦人科がん検診学会、日本泌尿器疾患予防医学研究会、日本乳癌検診学会、日本小児がん学会、日本医学放射線学会)の代表が集まり「各種がん検診に共通した諸問題、特にがん診断学、検診方法、精度管理、検診の評価および行政の対応などについて協議し日本におけるがん検診の発展に寄与する」という趣旨のもとで議論が進められ、1996年12月9日にがんの診断と検診を主体とした日本がん検診・診断学会が設立されました。

その後、個々の臓器の検診の専門医も、専門外の部位のがん検診に関しても一定の知識を持つことが必要と認識されるようになり、優れたがん検診のgeneralistを認定するため、「日本がん検診・診断学会 がん検診認定医制度」を2006年に発足させました。

これまでに305名(延べ人数)の方ががん検診認定医の資格を取得され、日常の医療の場でcertifyされた検診医として活躍されておられます。今後、実際にごがん検診を第一線で診療されておられるクリニックの先生方、検診・健診センターの先生方に本学会に参画いただき、そして認定医を取得いただく必要性を感じております。詳細は、日本がん検診・診断学会HP「認定医制度」(https://www.jacdd.org/index.php?page=info_medic2)をご参照ください。

このがん検診認定医の資格を取得するためには、各種臓器のがん検診に関する講義を受講し、試験を受験していただく必要があり、受験要件は以下のようになっています。

令和6年度からがん検診認定医の新規受験要件が緩和され、

1. 入会した年度での受験が可能です。
2. 2編以上の論文について、症例報告も認められます。

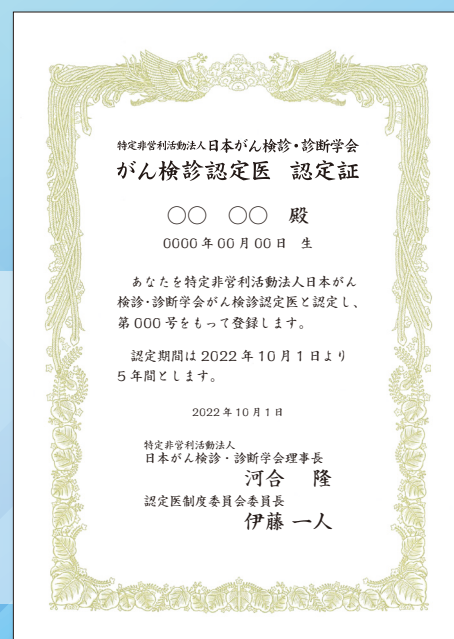
受験の流れは裏面に続く↓

✉ 新入会・お問い合わせ

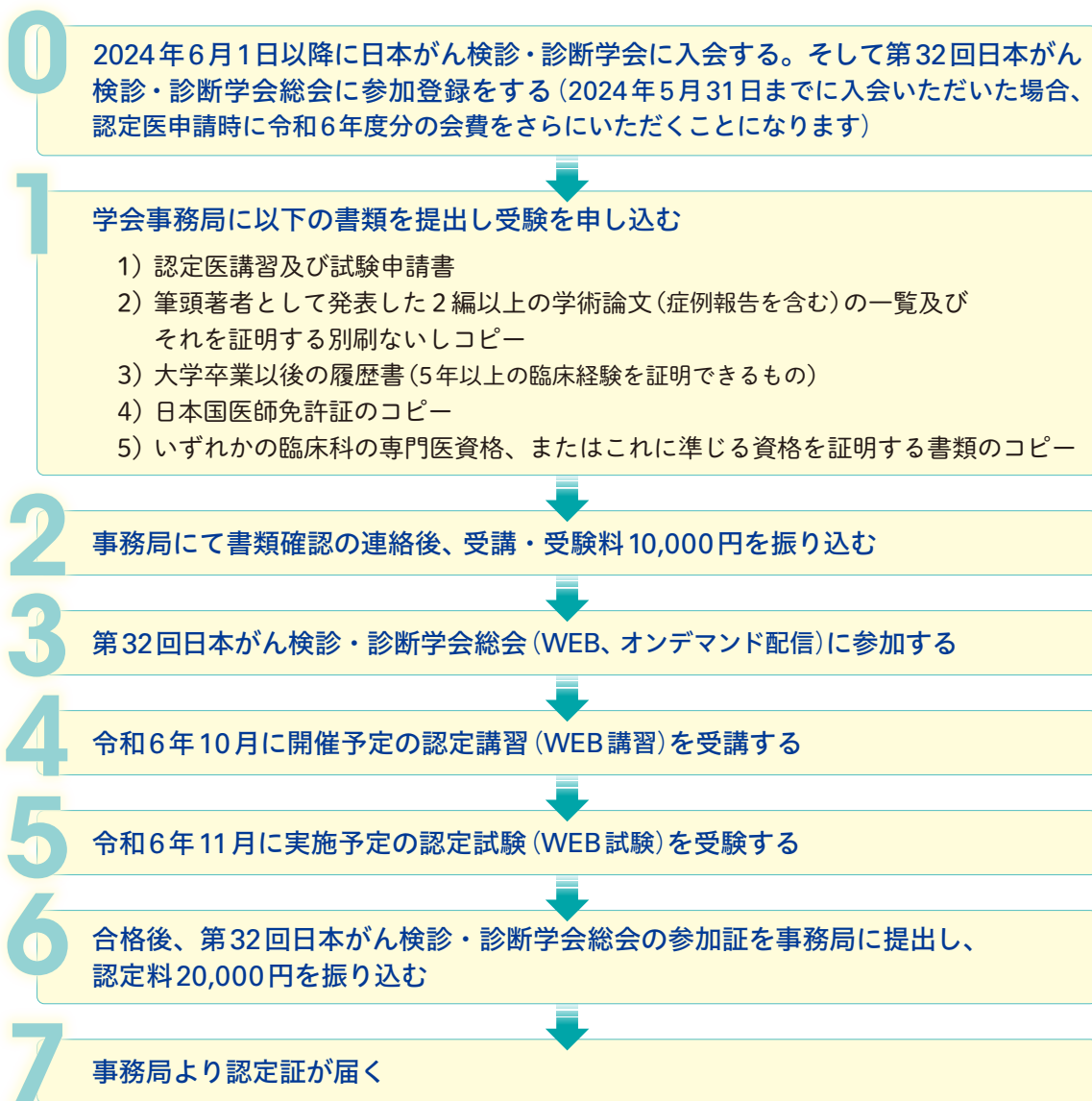


詳細は日本がん検診・診断学会HPを参照のうえ、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

日本がん検診・診断学会事務局
npjimu@jacdd.org
東京都千代田区飯田橋3-11-15 6F
株式会社クバプロ内
<https://www.jacdd.org/>



令和6年度認定医受験の流れ



2024年度(第18回)がん検診認定医講習会及び試験について

講 習：オンデマンド配信 2024年10月16日(水)～10月31日(木)(予定)

試 験：Web開催 2024年11月4日(月)～11月10日(日)(予定)

受講料：新規受講者 10,000円／がん検診認定医既取得者 5,000円

受講・受験申込期日：2024年10月20日(日)まで

入金期限：2024年10月24日(木)まで

試験内容

胃・大腸がん検診

腹部超音波がん検診

肺がん検診

乳がん検診

泌尿器科がん検診

婦人科がん検診

小児がん検診

放射線機器によるがん検診

※今回新規認定を目指す方は、「新規受講者 10,000円」をお選びください。

※認定医試験の実施方法はメールにてご案内差し上げます。

※日本がん検診・診断学会がん検診認定医制度規程はホームページ(https://www.jacdd.org/index.php?page=info_a04008)にてご覧ください。

各講義30分、各試験5分です。